



学 校 短 信

2023年(令和5年) 2月28日
大和市立南林間中学校 465号

自己を生かそう

2月 社会性

社会人としてのマナー、社会人としての義務・責任について学び、社会での自分の役割を果たせるようになるろう。

きび 厳しさが…



校長 四ノ宮 和仁

「立春」を迎えたとはいえ寒い日が続いております。それでも僅かではありますが日の入りが伸びたように感じる今日この頃ではあります。地域・保護者の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

2月14日に神奈川県公立高等学校入学者選抜、所謂公立受検が行われました。今年は大雪に見舞われることなく無事に試験は終えられたようです。まだ面接が残っているので気を抜くわけにはいきません。面接練習を私も行いましたが、どの生徒も真剣な眼差しで、そして少し緊張した面持ちで自分の志望する学校に対する思いや中学校での思い出、将来の夢、そして自分についてを力強く話してくれました。そこで私は生徒達に「緊張するのは当たり前で悪いことではないこと。その緊張に押しつぶされてはいけない。その緊張を楽しみましょう。面接官は敵ではないこと。もしかしたら四月から教わる先生かもしれないので、自分をわかってもらうつもりでお話をしてみてください。」と話しました。生徒達にとって受検(験)は確かに辛い人生の大きな壁のうちの一つになるのだと思いますが、これを乗り越えることによって大きく成長することは事実です。自分自身を見つめ、自分自身に問いかけ、自分自身と戦い、自分自身に折り合いをつけてどの生徒もこの時期に大きく成長します。そして卒業していくのです。将来の自分が大輪の花を咲かすことができるように、自分と向き合うという厳しさをしっかりと経験してほしいと思います。大輪の花ではありませんが、ちょうどこの季節です。桜の花は咲く直前の時期が寒ければ寒いほど綺麗に咲くそうです。3年生諸君も満開の花を咲かせるためにも、この受験期を大いに味わってほしいと思います。

2年生は3年ぶりの職場体験をしました。市内の中学校で1校のみの実施でした。地域の事業所や店舗等で二日間ではありますが実際に生徒が地域の方々に教えて頂き社会体験する学習です。本校のこの学習に対して地域の事業所や店舗等の方々のご理解とご協力のもとで貴重な体験をさせて頂いたこと本当に感謝しております。そして保護者の皆様の賛同を得られたことも大変有難く思っています。先程も申し上げたように、市内中学校で最も早く職場体験を復活させることができたのも保護者の皆様の賛同を得られたからに違いありません。この学習は生徒達の成長を画的的に助長する学習だととらえています。何よりこの学習の前と後では生徒達の顔付が変わってきます。学校での学習も大事ですが、たった二日間とはいえ、社会に出て現場で教えてもらうことの生徒達への影響は絶大であるということです。二日間でも中学生に仕事の厳しさを教えてもらえるとは思っておりませんが、例えば「挨拶一つとっても、「お客様には挨拶をすること。聞こえるように明るくはっきりと。」と教えてくださっていると。言葉は優しく教えていただいていることでは、内容としては「挨拶をすること」「気持ちの良い挨拶をすること」「気持ちの良い挨拶をされて不快に思う人はいません」「また足を運びたい」「売り上げが伸びる」ということで、逆に言えば「気持ちのない挨拶ではお客様に不快な思いをさせしまいます」「お客様に足を運んでもらえなくなります」「人の口に戸は立てられません」「売り上げに影響が出ます」という厳しさが生徒達に伝わるのだと思います。2年生は今からでも、職場体験仕込みの意味のある挨拶を学校で実践して広めてほしいと思います。それが本当の意味の職場体験であり、お世話になった方々への恩返しになるのです。

図らずも受験(検)と職場体験という社会の厳しさが成長を促すという話になりました。

これからも本校の教育活動にご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。



卒業に寄せて

3 学年主任 秋丸 大輔

3年前の4月6日、グラウンドで入学式が行われました。「新しい友だちをたくさんつくるぞ」「部活は何の部に入ろうかなあ」そんな期待を胸に抱いて中学校に入学したのも束の間、そこから2ヶ月の休校期間になりました。6月からは出席番号の前半・後半に分けた分散登校。17、18人くらいの生徒しかおらず、教室がスカスカで何だか寂しい感じもしましたが、新しい生活にドキドキワクワク。まだ会えないクラスメイトに対してメッセージを書いたりしていました。一日を学校で過ごすようになったのは7月から、そしてたった12日間の夏休み。7、8月はマスクを着用しながら登校し、学校に到着したら汗ダラダラに。「中学校生活、どうなっていくのかな?」、なかなか先の見えない三年間のスタートでした。

明日葉ノートやトマトプロジェクト、運動会でのダンス、球技大会を超えたアオリピック、行くことは叶わなかった鎌倉遠足の発表、そして修学旅行でのアクティビティーと学年集会…。コロナ禍でしたが今までの南中になんか新しいことを「やってみよう」、そして「みんなで楽しもう」。学年として三年間を通して大切にしてきたのは「主体的に学校生活を送り自ら学校を楽しむ」ことでした。また、様々な行事の取り組みだけでなく、日々の生活の中で、集団の一員として自分がどのように関わっていくのがよいことなのか、生徒たちに想いを伝えてきました。中学校三年間、決して楽しいことだけではなく、辛いこともあったと思います。この先にもっともっと、大きい試練が待ちうけているかもしれません。しかし、夢をもち、それに向かって絶え間なく努力を積み重ねれば、きっとその試練を乗り越えられると信じています。これから青学年247名の進む道は人それぞれ違いますが、みんな同じ空の下で生きます。いつかきっと、また逢える日が来るはずです。夢を持ち、あなたを彩るすべての人・ものに対して感謝の気持ちを忘れないでください。

保護者の皆さま、3年間ご支援、ご協力ありがとうございました。職員一同、お子さまのさらなる飛躍と幸せを、心から願っています。ご卒業おめでとうございます。

PTA 2 学年委員会 ～ 卒業生へ送るメッセージ ～

卒業生に送る、1・2年生と学校職員からのメッセージを、西棟一階（体育館出入口）に掲示しました。学校生活や部活動でお世話になった在校生から3年生へ、卒業を祝して様々な思いを桜の花びらにしたためました。学校へお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



3月の予定

- 3日(金) 卒業式予行練習
- 8日(水) 卒業証書授与式
- 10日(金) 2年球技大会
- 15日(水) 各種委員会
1年球技大会
- 23日(木) 大掃除
- 24日(金) 修了式・離任の会



自己を生かそう

3月 自己を生かそう 有終の美

自己の持てる力を最後まで発揮して、自己実現をはかろう。また、進級・進学・就職という出発に向けて準備しよう。